

問 大湯温泉総合振興プラザの前に観光案内所の看板が掲出されているが、案内を希望する旅行者への対応について伺う。

答 観光客が訪れた際には、状況に応じて大湯支所の職員が対応している。

スキーと駅伝のまちについて

問 「スキーと駅伝のまち」を今後の市政運営にどのように生かしていくのか伺う。

答 引き続き全国規模の各種大会やイベント等の開催を通じて、

交流人口の拡大や関係人口の創出などによる地域活性化に向けた施策を展開していく。

問 総合競技場をクロスカントリー競技の発着点にするなど、通年利用ができるように改修できないか伺う。

答 競技の発着点にするなどで市道を横断する必要が生じることや、競技運営で総合競技場に必要な設備を常設できないことから大会の準備に大きな負担が生じる。また大規

模な大会では総合競技場周辺も駐車場として使用しているため、総合競技場をコースとして使用するなどの通年利用は考えていない。

大湯温泉総合振興プラザについて

問 大湯環状列石の世界遺産登録を機に観光案内等の需要が増えると思うが、年間を通じて案内業務を行うなど、その需要に対応する考えはないか伺う。

答 大湯地区においては、道の駅おおゆが観光案内の機能を果たしている状況にある。

現状と要望の内容等を踏まえながら対応していきたい。



湯瀬 誠喜 議員
(鹿山会)

質問した項目

- 米価下落に対する農業支援について
- スキーと駅伝のまちについて
- 大湯温泉総合振興プラザについて



録画配信はこちらから

問 ICTやDXの利用に関する取り組みが近隣等の自治体で行われているが、情報収集や他に遅れを取らない取り組みは行われているのか伺う。

答 研修会や自治体・政府機関が情報交換を行うプラットフォームに参加するなど、最新の動向を把握するようにしている。引き続き情報収集や他市町村の動向を捉え施策に反映させていく。

第7次鹿角市総合計画（前期）実施計画について

問 総合計画の推進にあたり市民への理解と協力をどのように働きかけていくのか。

答 地域コミュニティの形成において、地域をけん引している方々と連携・協力・補完し合える環境づくりが重要であるため、地域課題の解決や新たな地域活動の担い手の発掘などを支援していく。

問 令和2年度自治会アンケートで8割の自治会が自治会への加入率90%となっており、市の統計をベースにすると鹿角市全体で76%である。総合計画を

立案する際の加入率は何%であったか伺う。

答 令和2年度の自治会加入率は76%であり、総合計画策定時点でも76%前後であったと思われる。

問 計画立案時に全世帯の約4分の1が自治会に入っておらず、今も自治会加入率は減少を続けている。総合計画実現への影響は大きいと考えるが、減少の歯止めをかける具体的な方策を伺う。

答 自治会は自主的な住民組織であることから、市が直接住民に加入を働きかける手段が限られるが、引き続き転入者等へチラシを配付し、自治会活動の案内など加入につながるよう努める。



丸岡 孝文 議員
(無会派)

質問した項目

- 第7次鹿角市総合計画（前期）実施計画について
- 通学時の熊対策について
- 児童・学童のスキー授業について



録画配信はこちらから